

# 熊本歯科三水会 50周年記念 学術講演会

## 豊かな歯科医療を目指して ～インプラント時代の将来展望～

**会長** 東 克章 (東歯科医院/東臨床歯周病研究所)

**日時** 平成25(2013)年  
**3月16日(土)・17日(日)**

**場所** 鶴屋百貨店(東館 7F 鶴屋ホール)  
熊本市手取本町6番1号



### 特別講演

講師: ヤン・ヴェンストレム 主任教授 (イエテボリ大学歯周病科)

演題: インфекションコントロール  
～ペリインプラント炎への対応～

通訳: 岡本 浩先生 (奥羽大学歯周病科元教授)  
竹内 泰子先生 (東京都 開業)

当日は、会員の発表やプレゼンテーション、企業展示、懇親会なども予定しています。



### 略歴

Jan Wennström DDS, PhD.

1989年から2002年まではイエテボリの歯科大学にて歯周科の大学院課程のディレクターならびに歯周病クリニックの責任者を務められる。歯周病学の分野で発表された学術論文は100件を超え、教科書を含む出版物の共著等もあり。

熊本歯科三水会が発足して間もなく50年を迎えます。

豊かな歯科医療をキーワードに、幾多の時代の変遷を通じて、現在のインプラント時代を回顧すると共に、さらなる将来への展望に焦点をあててみたいと思います。

【大会事務局】  
スタディ・グループ連絡先: 熊本デンタルフォーラム

〒860-0805 熊本県熊本市桜町1-28-205 桜町センタービル  
実行委員長: 堀川 正 (熊本県開業・熊本歯科三水会会員)

【運営事務局】  
(株)JTBビジネスサポート九州 ICS営業部

〒810-0072 福岡市中央区長浜1丁目1-35 新KBCビル6階 [担当: 浦 義勝]  
Tel.092-751-3244 Fax.092-751-3250 E-mail. y\_ura296@kys.jtb.jp

# 熊本歯科三水会について

## 熊本歯科三水会の目指すもの

歯科医療研鑽を通じ、社会人としての豊かさを身に付けた  
バランスのとれた人格形成を目指す

### 沿革

50数年前に、経済学を勉強された木下先生が、熊本にて医療管理の講演をされたのをきっかけに、6名のメンバーが集まって勉強会を始めたのが三水会の原点。近代歯科医学をめざそうと、第三水曜に例会を定め、昭和38(1963)年、“熊本歯科三水会”と命名された。

当時は、歯科の状況はいまだ戦前の考えや技術が残り、旧態依然としていた。そのようななか、UCLAに留学されて米国の最新歯科医学を学ばれた納富哲夫先生を招き、米国の精密鑄造の技術を取り入れていち早く臨床応用したのをはじめ、会の活性化と継続をめざし、横浜歯科臨床座談会などのスタディ・グループを訪ね、運営やケース・プレゼンテーションのやり方を学び、熊本ではいち早く定着させた。

このような営みを続けるなか、われわれ一般開業医はバランスのとれた平均点の高い力を養うのを目的とすべきとの視点に徐々に変わっていき、エンド、ペリオ、小外科、矯正、磁性アタッチメント、それとインプラントな

どの特別なコースを多岐にわたり開催し、研鑽を重ねてきた。

会員の年齢は3世代にまたがり、各会員の考えや価値観も多岐にわたっているが、発足以来50年間、現在も月に1~3回の各会員によるケース・プレゼンテーションを中心に活動を絶やすことなく行っている。

長期にわたり会の運営がスムーズに行われた根底には、会員として歯科医師であるよりも前に、社会人としての豊かさを身に付けたバランスのとれた人格を形成することを掲げ、時には一泊旅行や種々節目のお祝いの形式で親睦の場を設け、日ごろ自分の考えていることを話し合い、夜を徹して語り合う時間を持ち、会員相互の理解と友情を深めることにも精力を注いできたことが大きいと思われる。今では、その長い歴史と伝統に裏付けられて、単に歯科医療の技術や知識を学ぶ集団を超えて、会員相互の研鑽を通じて人生勉強をもさせてもらえる場になっている。

